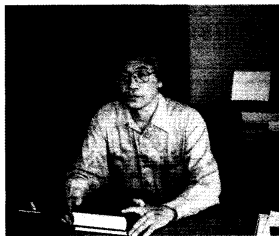


●館長就任のあいさつー図書館長のたのしみー	1～2
●博士学位論文要旨の電子化とホームページ上の公開について	2～3
●AV資料を利用しよう	4～5
●国際放送視聴コーナーへどうぞ	6
●『あんな迷惑・こんな迷惑』	7
●図書館の動き	8

図書館長のたのしみ

附属図書館長 浅井哲也（理学部数学科・整数論）



2,3,5,7は素数である。並べた100以下の数から2,3,5,7の各倍数を順に取り除くならば、そこに11から97までの21個の新たな素数を見出すであろう。これが「エラトステネスのふるい」である。前三世紀の昔、エラトステネスはアレクサンドリア図書館の第三代館長であった。これを知るや、私は図書館と図書館長の職に束の間特別の親しみを覚えた。しかし今では、軽薄の報いとして重圧に苦しんでいる。図書館の仕事は重い。

「遡及入力」というものがある。周知の通り、図書館でのカード目録はコンピュータ目録へと移行しつつある。OPACという仕掛けで学内外の端末から蔵書の検索が瞬時にできる。貸借手続も簡便迅速になった。学術情報センターを通じて国

内外のネットワークとも結ばれる。ところが、目録情報が一応入力済みであるのは、わが全蔵書の40%にも満たない。附属図書館の蔵書は約100万冊であるから、旧蔵書60万冊の目録が入力待ちである。これがすなわち遡及入力問題である。最近の学術審答申(1999.6)においても、大学図書館間における相互利用の前提条件として遡及入力を緊急課題と指摘している。然るに驚くべし、この大事業に予算的裏付けがない。この数年は、学長裁量経費等の援助で、毎年わずかに6千冊程度のペースで進行しているのが実状である。この有様では100年かかる。目録作成は図書館の主要業務である。能率の向上と経費の節減の工夫は必要であるが、この作業に消極的であってはならないだろう。まして、相互利用の前提であってみれば、似たような状況にありながらも、競って努力している各大学に大きく遅れをとることは許されない。速からず、国内の主要図書館の全目録所在情報は学術情報センターあるいは国会図書館に集成されるだろう。そのとき、全国津々浦々すべての学徒が等しく幾千万巻の書誌情報に触れることができる。楽しからずや。遡及入力は、難事業ではあるが、関心と理解を深めつつ、子孫のために夢

を持って、全学的に取り組まねばならないと思う。

「浜松分館」の充実が差し迫った課題である。西部キャンパスでの一貫教育実現！悲願成就の喜びの一方、生まれに次いで育ちの難儀が続く。全学1万の学生は凡そ3:2の比をもって東西に分かれるが、事は、比例ほどには単純明快ではない。キャンパスの機能と活力を東西ともに維持発展させるための方途が模索されねばならない。図書館についても同様である。東西一体の図書館として両館を並行して運営するという方針を保ちつつ、細部ではよりベターな方式を探索していくことになる。特に、利用面での平等化の追求は優先されねばならない。まず、建物問題は既に久しい懸案である。両館ともに深刻な飽和状態であるが、学生増に対応すべく浜松分館の増築は火急を要する。大学図書館はキャンパス環境整備の要めであり、総合情報処理センターの設置と合わせた複合施設の可能性を含めて、全学挙げて最優先の要求としたい。資料面の充実はさらに重要である。西部での教養教育用図書の一括購入などの当座の充

実策は特別計上の予算によって既に進行中であるが、将来の見通しは薄暗い。分館のレベルアップを図ることは当然であるが、本館のレベルダウンとの引換えは避けたい。しかしこれは、従来の予算規模のままで至難のことである。殊に学生用図書経費の欠乏がある。昨年の受入数は学生1人当たり0.5冊に達しない。たまたま開いた「静岡大学五十年史」によれば、国立大学図書館改善要項(1952)には「累年増加冊数は学生1人当たり2冊以上とすること」とあり、また図書館経常費については「大学経常費の少なくとも10%を目標とする」と提示されているという。爾来五十年、果たして大学の怠慢はないであろうか。記念の年こそ、初心に返って充実に尽くしたい。

古代アレクサンドリアの名声の源は図書館であった。プトレマイオスの王たちの築いた壮大な図書館がアレクサンドリアをヘレニズム第一の国際都市、学問と文化の中心地たらしめた。ユークリッドが生き、アルキメデスが学んだ。木立ち越しの図書館の窓にたのしげな学生たちの影を眺めながら、再び私は夢に耽る。

博士学位論文要旨の電子化とホームページ上の公開

従来の図書館は資料の収集、利用、保存をその機能の中心においてきましたが、インターネットやコンピュータ技術の発達・普及により、積極的な情報提供・情報発信を行う図書館が見受けられるようになってきています。現在では多くの図書館がホームページを開設し、様々な情報を発信しています。図書館資料に関連しては、その図書館が所蔵する貴重な資料や大学の研究成果などが、資料の保存、利用、そして学外への公開のために電子化され、公開されています。

このたび、当館では、電子科学研究科の全面的な協力の下に、「博士学位論文－内容の要旨及び審査結果の要旨」を元にその要旨部分を電子化して公開することとなりました。この種の業務ははじめてのことであり、試行錯誤しながら職員の手担任で行いました。

作業は、「博士学位論文－内容の要旨及び審査結果の要旨」の要旨部分をスキャナーで読み込んで、OCR変換し、さらにホームページ上で閲覧できるようにHTML文書に変換するというものです。印刷媒体から作成したためこのような手順となりました。

ホームページ上の閲覧は、附属図書館のホームページから<静岡大学博士学位論文の要旨一覧>(図1)にリンクしています。最初のページは要旨の一覧が、学位論文の種別毎に、発表年度の新しいものから並んでいます。現在平成9年度までの授与分が登録されています。各論文名をクリックすると要旨が閲覧できます(図2)。また、全文検索システムを使用して、各要旨のタイトルや本文中の語句で検索できるようになっています。検索には<全文検索>をクリックします。(図3)

要旨の各頁は単純な形式としてあり、必ずしも読みやすい頁となっているとはいえないかもしれませんが、また、ブラウザの種類により表示のされ方が異なる場合もあります。しかし、パソコン上のブラウザからいつでもどこでも閲覧できることや、タイトル等がいまいな場合も検索できるといった印刷媒体にない利便性もありますので、ぜひご活用ください。

最後に作成してみての反省点や問題点を掲げておきます。印刷媒体からOCR変換は対象となる印刷資料や使用するソフトウェアの性能などにもよりますが、当然ながら完全とはいえず、特に今回

は工学系の要旨であり、数式等も含まれていたため自動処理がうまくいかず、作業は多大な労力を要しました。現在では資料の多くが作成過程でコンピュータ処理されていると思われるので、そのまま変換等の処理をすれば労力は軽減されると思われます。また、大学の研究成果や資料を公開していく上では、学内の協力体制、あるいは作成や公開手順の標準化が必要と思われる。他にも、著作権についても十分な配慮が必要となります。

(情報サービス課システム管理係)

〔博士学位論文要旨ホームページ公開画面参考例〕



図1：一覧画面

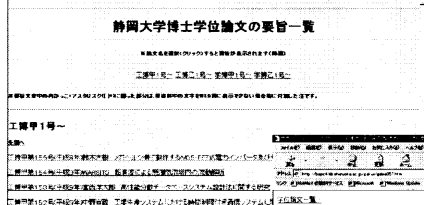


図2：要旨の画面



図3：全文検索画面

AV資料を利用しよう

浜松分館2階にAV資料室・AVコーナーを開設しました。
図書館所蔵資料を視聴できるようになりましたので
大いに利用してください。

利用について

1. 利用時間
利用申し込みは、閉館30分前まで。
2. 利用申込み
貸出カウンタでヘッドフォンを貸出します
(音声はヘッドフォン使用時のみ出力)
3. 利用上の注意
*ビデオテープは利用後、必ず巻き戻して元に戻してください。
*使用したビデオ機器等は電源を切る等元の状態にしてください。
4. その他
*図書館所蔵資料のみ視聴できます。
*資料の貸出はしません。館内のみの視聴です。
*資料リスト一覧があります。(AVルームと受付カウンター)

旅にでよう(ビデオ)

ビッグアップルニューヨーク
光あふれる島々ハワイ
ロシアの宝石モスクワ・レニングラード
南半球のパラダイスオーストラリア
心の国神祕の国インド
アフリカの魂ケニア
恋の街芸術の街パリ
永遠の都ローマ
憧れのブスの魅力スイス
太陽の国スペイン
光と夢のモザイクロサンゼルス
エストコーストの輝きサンフランシスコ
未来へのときめきブラジル
豊かな歴史と伝統フランス etc.



名画をみよう (DVD)

世界クラシック名画100 撰集 60-100

モロッコ・美の祭典・民族の祭典・第七天国
血と砂・つばさ・たそがれの維納・ドン・ファン
バグダッドの盗賊・豪勇ロイド・男性と女性
大地のうた・大河のうた・樹のうた
西部戦線異状なし
ジキル博士とハイド氏・戴する、ジャンヌ
十誠・雀・ベン・ハー・南部の人・キッド・邂逅
めぐりあい
イントレランス・チャンプ・恋愛準決勝戦
キング・オブ・キングス・ボーリンの冒険
チャップリン作品集1-6
黄金狂時代・チャップリンの麗女の深情・河
囁きの天使・拳銃無宿・じゃじゃ馬馴らし

日本の自然をみてみよう(ビデオテープ)

Yama-kei video collection 日本・森の旅1-4

ブナ原生林：朝日連峰。
南の島の原生林：屋久島・三宅島・西表島
郊外の森・雑木林
落葉松林：ハイマツ

Yama-kei video collection 日本・花の旅1-8

高原の花：蓼科・霧ヶ峰
高山の花：南アルプス
春に咲く花/1
春爛漫・桜の里
大雪山の花
海辺に咲く花
秋に咲く花
湿原に咲く花



名曲をきこう

新CD文庫

ヴィヴァルディ / 四季*

口笛吹きと犬：ベルシヤの市場で：森の水車：
オーケストラ名曲集1-3
チャイコフスキー / くるみ割り人形組曲 他
ボレロ、魔法使いの弟子：オストラヴァジ
ウィリアム・テル：序曲名曲集
美しく青きドナウ：ウィンナ・ワルツ名曲集
1812年、剣の舞：D♯管弦楽名曲集
威風堂々：シンフォニック・マーチ
おもちゃの交響曲：キッズ・クラシック
トロイメライ：ロマンティック・ピアノ名曲集
エリーゼのために：ピアノ小品名曲集
別れの曲：ショパン・ピアノ名曲集
垂麻色の髪乙女：ドビュッシー・ピアノ名曲集
ツイゴネルワイゼン：グッセルの名曲集
愛のよろこび：クライスラー名曲集
禁じられた遊び：ギター名曲集 etc.

宇宙をみよう(ビデオテープ)

NASA 宇宙の記録 1-30

NASA の軌跡：NASA25 周年記念作品
マーキュリー計画：NASA 最初の有人宇宙飛行
ジェミニ計画：アメリカ初の宇宙遊泳
アポロの成果と月の謎を解く：月着陸 20 周年記念作品
ET・宇宙人は存在するか：地球外生命を捜す
チャレンジャー号事故
日本人宇宙飛行士誕生：毛利衛のスペースシャトル飛行
国際宇宙ステーション：フリーダム

美術館にいろいろ(1D)

世界の美術館(華麗なる殿堂) 1-16

エルミタージュ美術館 1-2
ルーブル美術館 1-2
ブラド美術館 1-2
ウフィーツィ美術館 1-2
アカデミア美術館
ドレスデン絵画館 etc.

語学学習に
(カセットテープ)

リソガワ

英語・フランス語・ロシア語・ドイツ語・米語
NHK 英会話入門 etc.

その他(ビデオテープ)

新・図書館の達人 1-3

ワールドカップ物語 1-3

トクシャ・テレビ・発祥の地

(テレビ・静岡：静大浜松分館より中継)

平成2年2月9日放映

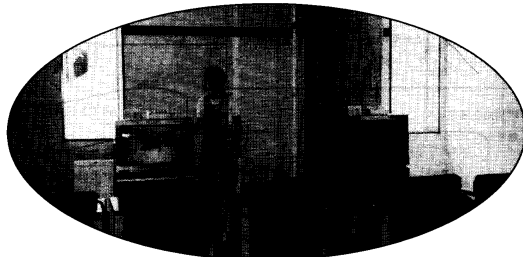
静岡大学紹介ビデオ「静岡大学を徹底調査」 etc.

国際放送視聴コーナーへどうぞ



附属図書館では図書館の電子化に向け、情報機器の導入、資料の電子化及びネットワークの整備等推進してきましたが、このたび国際人育成支援の一環として、本館5階第2閲覧室（Harvest Room）と、浜松分館2階 AV ルーム及びロビーに国際放送視聴設備を導入いたしました。これにより国際放送及びハイビジョンや衛星放送の視聴が可能になり、激動する世界の最新情報を生の英語で直接視聴できるようになりました。又、留学生には居ながらにして自国の情報をリアルタイムに入手できるようになりました。ソファに取り付けてあるヘッドホンに耳に、モニター前のソファに座り、世界の文化の視聴、語学学習や母国のニュース等ゆっくりと楽しんでいただきたいと思います。本館は月～金の9時～20時（休業期は16時まで）の間、分館は図書館開館時間中自由に視聴できますので大いに活用して下さい。

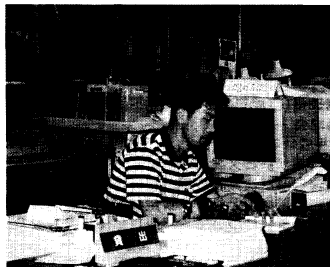
附属図書館チャンネル表		浜松分館チャンネル表	
チャンネル 選択スイッチ	設定チャンネル	チャンネル 選択スイッチ	設定チャンネル
BS1	設定されていません	1(36)	CNN
BS2	衛星第1	2(37)	BBC ワールド
BS3	ハイビジョン	3(30)	CSN1 ムービー
BS4	衛星第2	4(20)	放送大学
CS1	放送大学		
CS2	ミュージックフリーク		
CS3	CNN		



＜国際放送視聴コーナー＞

『あんな迷惑・こんな迷惑』

運用係 松葉 眞洋



僕が図書館で働きはじめてからはやくも六ヶ月がたちます。徐々に仕事にも慣れてきたとはいえ、未だ至らない点が多く、利用者の方々に迷惑をかけてばかりです。迷惑といえば、利用者のみなさんも案外気付かないところで自分以外の利用者の方々の迷惑になっている場合があります。例えば、閲覧した本をもとあった書架とは違う場所に返してしまうことです。図書館の蔵書検索を利用されたことのある方にはお分かり頂けるでしょうが、図書館の本は、図書館の背に貼ってあるラベルの番号とアルファベット(請求記号)順に並んでいるので、むやみに並び順をかえてしまうとせっかく検索してもお目当ての本が見つからない、ということにもなりかねません。図書館職員も書架の乱れを直す作業(整架)を継続的に行っていますが、とても間に合いません。多くの利用者の方々にとって利用しやすい図書館であるために、皆さんのご

協力をお願いします。

さて、図書館で最も迷惑な事といえば不必要な音を出すことですが、近年の携帯電話の普及により、呼出音が鳴ったり対応の音を出す場面をよく目にするようになりました。無論、図書館内での携帯電話等の使用は御遠慮して頂くことになっていますが、電源をオンにして呼出音が出る状態にしておくのも、ある意味では使用といえるかと思います。使用を御遠慮して頂く趣旨は、他の利用者の方々の迷惑になるのを防止することにあり、そうであるならば、呼出音が鳴ったり鳴る可能性がある状態にしておくことは、他の利用者の方に迷惑をかけ、または迷惑をかける蓋然性が高いといえるからです。電源を切ってしまったのは利便性が損なわれることは否定できませんが、やむを得ないことと納得して頂きたいものです。

このように、何ということはないと一見すると思えるような事柄が、図書館という多くの方々が利用する施設としての性質上、好ましからざる結果を招いてしまうこともあります。大学というのはただ机に向かって勉強するだけのところではないと思いますが、図書館は、講義に必要な文献を調べたり、静かに勉強するための場所です。その場その場に適した行動ができる、ということも、一社会人として生きていくための必須条件といえるのではないのでしょうか。

図書館の動き（会議報告）

平成11年度第1回附属図書館委員会
(平成11年 6月29日 於：図書館会議室)
議 題

1. 平成11年度図書館事業について
2. 平成11年度図書館予算について
3. 平成11年度学生用図書購入費の配分について
4. 高度情報化計画策定委員会について

報告事項

1. 各種関連委員会委員について
2. 平成11年度大型コレクションの要求順位決定について
3. 平成10年度図書館経費決算について
4. 浜松分館における4年一貫教育への整備等について
5. その他

平成11年度静岡県大学図書館協議会総会

(平成11年 7月23日 於：静岡理工科大学)
附属図書館長、事務部長、情報サービス課長、図書館専門員、資料受入係長が参加。
平成10年度経過報告がなされた後、平成10

年度決算報告、平成11年度事業計画・予算について等協議し、引き続き大学の設置系を異にする図書館毎に図書館活動等についての関連報告がなされた。

その後、志村史夫静岡理工科大学教授による「衆縁と合一私の芸・文・理系人生」と題した講演が行われ、学問への多角的アプローチが人類の文化活動に必要であるとの説が示された。

第53回(平成11年度)東海地区大学図書館協議会総会

(平成11年 7月22日 於：愛知県立看護大学)
情報サービス課長が出席し、平成10年度事業報告及び決算報告等の報告事項がなされた後、協議事項として、新規加盟館及び退会申請館の承認について、平成11年度事業計画及び予算について等、協議がなされた。

なお、午後は中山和弘愛知県立看護大学助教授による講演「インターネットによる健康と福祉のネットワーク化」が行われ、活発な質疑応答が行われた。

編集後記

いつも図書館通信をお読みいただきありがとうございます。今号が発行されるのは10月初旬、秋の紅葉が始まる頃だと思いますが、編集作業は残暑厳しい9月初め、図書館事務室の冷えないクーラーに文句言いつつ、汗を拭きながら原稿を切ったり貼ったり、といってもコンピュータの時代、カット＆ペーストで何とか体裁を整えようと、前号と同様頭を悩ませました。

附属図書館に配置されて2年目、どういった訳か図書館通信の編集担当となり日頃あまり興味のなかった「」；本通信をバックナンバーを含め、就職以来初めて真剣に読んでみて、『情報の正確さ・わかりやすさ』がいかに重要か身にしみてわかりました。諸先輩方の努力と才能と技術のなさがじゃまをする。それでも何とか発行にこぎつけられたのは、本通信を支えてくれる多くの教職員の皆様のご理解とご協力の賜と本年度図書館通信編集委員一同感謝いたしております。

なお、次号から編集長も交替、紙面も大幅リニューアル？の予定です。

平成11年度前期図書館通信編集長 総務係 鈴木 健太

静岡大学附属図書館報「図書館通信」 第129号 (平成11年10月1日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 〒422-8529 静岡市大谷836 Tel.054-238-4475 Fax.054-238-5408